



ライフアートコミュニティ佐保の里
通所介護・訪問介護・訪問看護・居宅介護支援



佐保の里たより

ディサービスセンター佐保の里

〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241

電話：0742-70-5020

青山ディサービスセンター

〒630-8101 奈良市青山4丁目3番

電話：0742-23-1020

菅原ディサービスセンター

〒631-0842 奈良市菅原町298-1

電話：0742-53-2020

新大宮ディサービスセンター

〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18

電話：0742-30-3560

ホームページ <http://www.lifeartcommunity.com>

奈良の伝統行事 修二会 について

お水取り

古都奈良の伝統行事で通称「お水取り」、正確には「修二会」という行事があります。正式名称は「十一面悔過」と呼ばれ、例年、3月1日から3月14日まで本行が行われ、終わるころには冬が明けていることから、春を告げる行事ともいわれています。この行事は奈良時代(752年)から1266年間続き一回も途絶えたことがありません。お水取りは、東大寺を開山した良弁(ろうべん)の高弟、実忠が始めたことされており、旧暦の時代は2月1日から実施されていたため、二月に修する法会「修二会」と名付けられ、二月堂の名前もこれに由来しています。人々に代わって罪を懺悔し、天下泰平や五穀豊穡を祈るこの大規模な行事は、まず行を執り行う11人の練行衆を決の命日12月16日に練行衆の発表があると、翌年2月20日に前行でめるところから始まる。良弁ある別火が始まり、練行衆は泊まりこみで本行の準備にあたる。そして3月1日、練行衆は行列を組んで二月堂へ向かい、本行が開始される。本行中、練行衆は毎夜、高さ約6メートルの巨大松明に火をともし、二月堂へ入り深夜まで祈りをささげる。その時に唱えられるのが、独特な節回しの声明(しょうみょう)である。練行衆がお堂入りしたあと、燃えさかる松明は舞台の欄干に掲げられるが、これがお水取りの中で最も有名な「おたいまつ」と呼ばれる場面です。降り落ちる火の粉が無病息災と言われたことからたくさんの参拝客が集まります。本行のクライマックスは12日深夜で、籠松明(かごたいまつ)がたかれ、練行衆は祈りの合間に、二月堂下にある若狭井(わかさい)に水を汲みに行き、くみ上げた水は「香水」と呼ばれ、本尊である十一面観音に供えられます。これがいわゆるお水取りの儀式なのです。

達陀(だったん)の妙法と達陀帽いただかせ

大松明を持った練行衆が二月堂内陣をかけまわる「達陀」という妙法があり、金欄の帽子をかぶった僧(水天)が現れ水をまく、するともう一人の僧(火天)が現れ、炭火を散らす。やがて松明を抱えた火天と灑水器を持った水天が現れる。堂内は足音がドンドンとリズムカルに響き、松明の火がいっぱいに広がる。煙、木の焼ける香りがお堂に漂う。火の勢いが高まってくると、松明がお堂の中央に投げ出されるという行法です。修二会の最終日3月15日午前9時～午後3時の間に、「達陀帽いただかせ」という行事があり、この行事は、特別に東大寺の依頼を受けた人々が、行中に練行衆が被っていたこの金欄の達陀帽を参拝にきた子供たちに『身体健全に守らせたまえ南無観自在菩薩』と唱えながら、被せると、風邪をひいたり、病気をすることなく、幸福で健やかに成長すると言い伝えられています。



長田理事長

『身体健全に守らせたまえ南無観自在菩薩』

二月堂のお松明



達陀帽いただかせ



今年は佐保の里の長田理事長が東大寺の依頼を受けて役割を担いました

レクリエーション

季節は梅雨に入り、気温もだんだん高くなり夏らしい時期になってきましたね。皆様は、如何お過ごしでしょうか？ 各事業所はこの時期ならではのドライブなど利用者様に楽しんでもらうため色々なレクリエーションを企画し、開催しています。

佐保の里



佐保の里では、5月に食事会を開催しました。なかなか外食の機会が少ない方にはたいへん喜ばれました。6月には紫陽花を見に木津川市にある恭仁京まで行ってきました。皆様たのしそうな顔をされていますね。



青山



青山デイサービスセンターは、6月に午後から長弓寺に紫陽花を見に行ってきました。色とりどりの綺麗な紫陽花を満喫いたしました。



菅原



菅原デイサービスセンターは、6月の外出は紫陽花を見に長弓寺に行ってきました。天気にも恵まれ外へ出ることもできました。右の写真は、毎月ボランティアで来て頂いている太郎と花子さんです。利用者様も踊られ楽しそうにされています。



新大宮



新大宮デイサービスセンターは、6月に梅雨にぴったりの花、紫陽花を見に木津川市の恭仁京まで行ってきました。天気は最高の花見日和で、外に出て今の時期の風を利用者様に感じて頂くことが出来ました。



作業療法士としての一言

～・～認知症に向き合って～・～

私にとって認知症は、身近で日常的な病気です。両親も祖父母も認知症で、私自身Ⅰ型の糖尿病なので認知症になるリスクは他の人と比べて少なく見積もっても4～5倍です。「明日は我が身」と本気で思っています。特に、2年前に父が脳梗塞になったのを機に、母の認知症が急激に悪化し、一時期は昼夜逆転、暴力行為、妄想、拒薬がありました。姉も私も仕事を辞めて両親の在宅生活を支えることにしました。それまでの私はいくつかの職場(老人保健施設、デイケア、病院)で認知症ケアの勉強会や講習会に積極的に参加し、認知症について理解を深めてきたつもりでした。しかし、家族に対しては病気のせいだとわかっていても感情的になり、自分の無力さに落ち込む日々でした。そんな時、認知症初期支援チーム(現まほろばオレンジチーム)の方に助けていただき、母のために、介護サービスの利用を強くすすめられました。「大事なことは、家族が犠牲にならないことです。娘さんもお仕事をしてくださいね。」主治医からも「家族だけでは、だめです。外に出てデイサービスに行くことが大事です。」と言われました。不安はありましたが、両親がデイサービスの日は仕事に出ることにしました。

私が作業療法士として、認知症のある方に接する時に大切だと思ったことは、**正面から笑顔で明るく落ち着いた声で話しかけ、安心してもらうことです。**うっかり後ろから声をかけて怒られたという失敗もありました。ただでさえ不安なのだから、**見える範囲で状況を把握できることは、とても重要なこと**なのです。

家族として気付かされたことは、意識せずとも母を傷つけてしまっていたことです。「認知症がある方に『さっき言ったでしょ、忘れないでね』などと記憶を促すことは、手に運動麻痺のある方に『手を動かして』と言ったり目の見えない方に『見てください』と言うのと同じだ」ということを専門家の方から言われ、はっとしました。ちょっとした声かけが言葉の暴力になりかねません。リハビリの観点から、母の脳機能を少しでも回復させたいという思いから出た言葉でしたが**逆効果**でした。周辺症状には、その人なりの理由があると言われていました。認知症になってしまうと、失っていくものが多く、自信や自由が奪われ、不安や怒りが生まれます。日々怒り狂う母に対して、娘として母を尊敬し頼ること、それができなくてお互い苦しみました。しかし、母が得意なことをデイサービスで始めるようになり、自信が戻ってきたことで生活の中で変化が見られるようになりました。母の良いところや親として私を支えたいと思ってくれている姿が見え、家族としてお互いに感謝して認め合うことも自然にできるようになりました。

母は依然として短期記憶の保持は難しいですが、周囲の援助で、安心できる生活の場があることで、毎日笑顔で過ごすことができるようになりました。まだ私の家族の状態は不安定で大変なこともあります。日本でもようやく認知症について新しい試みによる治療法の発見が報告されてきたところです。まだまだ改善する希望があることを忘れないようにしたいと思います。

訪問看護ステーション 佐保の里
作業療法士 リー 貴子



白慢のご利用者さん

木津川市在住

松岡 幸子 様 (80歳)

青山デイサービスセンター

**週に5日デイサービスをご利用頂いています。若々しく
お歳には見えない松岡さん、笑顔が素敵な方です。**



昔の思い出・・・！

大阪でお生れになり、結婚をされてから、こちらの方へ来られました。
工務店を経営されていたご主人が40歳で癌のために亡くなられてからは、
娘さん、息子さんをおんな手一つで育ててこれ、多々のご苦労も
おありになられたと思いますが、そのかいあり、今はお二人とも親孝行で
「言うことありません・・・。」とのことでした。
娘さんも嫁がれていますがよく訪ねて来て下さるそうです。



お元気の秘訣は？

まだまだ杖はいりません！

現在は、息子さん(単身赴任中)とお嫁さん、孫さんお二人で生活をされています。
食事はお嫁さんが用意してくださっていますが、味も栄養バランスもバッチリ！だそうです。
それと、毎日の日課として雨の日以外は、食後にご近所を一回り散歩されています。食事と、
適度な運動が松岡様の元気の源になっているようですね。
それのおかげか、足腰も御丈夫で痛いかなと思うことがあっても、シップを
貼り一晩寝ると、治っているようです・・・



今後の目標 はありますか？ とお尋ねすると、家族全員が健康でいれること、特に
「自分の事は、自分でしていきたいです！」 と話してくださいました。。



青山デイについて！

これからどうかお元気でいて下さい♡！！

現在は週5日ご利用してくださっています。リハビリもレクリエーションも意欲的に参加して頂いているようです。
昔は手芸がお得意だったようで、青山での手芸の時間も楽しみにされているようです。「職員さんも良く
してくれ、仲良くしている利用者さんとおしゃべりや、家ではできないことができる・・・」 とご満悦の
ようでした。 これからもより楽しんで頂けるようご支援させていただきます。 インタビュー：森井 美喜

佐保の里の・訪問介護 訪問看護について

ライフアートコミュニティ佐保の里では、リハビリや癒し、楽しいレクリエーションと言った特徴の他、利用者様の健康面の重要性を考え、利用者様一人ひとりに気配り、異常の早期発見、健康指導など対応させて頂いています。「慢性疾患の管理」「異常の早期発見」「優しい介護」「配慮ある介護」を様々な面で安心を提供させて頂いています。

利用者ニーズにあった対応

訪問看護・山口

適切なアドバイスと処置

昨年の5月に訪問看護ステーションを開設させて頂き、ほぼ1年が経過しました。居宅支援事業所様、地域包括支援センターの関係者の方々にも少しづつ認知していただき、現在訪問看護、訪問リハビリのご利用者様が50名近くの登録を頂いており、4名のナースと2名の作業療法士により日々在宅生活のご利用者様の看護業務を提供させて頂いています。開所当初は佐保台の佐保の里内でのスタートでしたが、今回新規事務所に移転させて頂き、心機一転奈良市の西方面にも拡充して参りたいと考えております。

新事務所

〒631-0845

奈良市宝来3丁目 16-4 2階

TEL (0742) 52-7020

FAX (0742) 52-7022

お問い合わせお待ちしております。



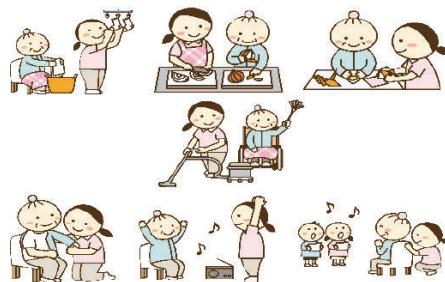
優しい思い



訪問リハビリ

ご自宅にお伺いして、実際の環境でお困りの事や身体の不調の原因などを探り、問題解決や痛みや、不安などのご支援をさせて頂きます。

笑顔での対応



訪問介護・杉元管理者

訪問介護事業として、平成17年、佐保の里のデイサービスと同時に開設させて頂きましたが通所介護事業所ばかりが先行して訪問介護事業の存在がなかなか認知され難かったですが、ここに来て地域の皆様への認知度も上がり、要望に対して対応出来ない場合があったりしますが、今後は心機一転「地域の方々」に認知され地域の在宅支援を目指して職員一同より一層精進して参ります。



訪問介護・細川サ責

訪問介護事業として、昨年からは時間短縮やサービス内容の見直しなど様々にご利用者様には大変難しい状況の中、私達ヘルパーがどう関わって行くかが大きな課題となっています。自立した日常生活の支援として介護保険のサービスと実費のサービスを織り交ぜながら、安全で安心した、在宅生活が提供出来るように、杉元管理者と協力して事務所を盛り立てて参ります。

暖かな人間としての「おもてなしの心」と利用者お一人おひとりに対する満足に寄り添える対応を心がけております

掲 示 板

中堅幹部のための「マネジメント研修」の実施

ライフアートグループ(ライフアートプランテック他4社)では、人財の育成を最重要事項と考えて、定期的に外部の講師をお招きし社員研修会を実施しています。

今回は、平成30年5月11日、18日、6月8日の3日間、各部署・事業所の管理者に「当事者意識と組織マネジメントスキルを養成する」を目的に、中堅リーダー幹部職員26名が参加して研修を実施しました。

講師は、永年(株)神戸製鋼所で社員の能力開発・人材育成に取り組んでおられ、現在カルチャー研究所代表として、各企業等にキャリアコンサルティングを実施されておられる「大森 史郎」先生にお願いしました。映画「八甲田山」を鑑賞して「当事者意識と対応方法」、お互いに反応し合っている人々の間で行われている交流の分析「交流分析」、管理者の役割、目標達成の管理、職場の問題解決、部下の育成、リーダーシップ等「管理機能と組織運営」について受講しました。

今回の研修により、人材の育成に取組みチーム力を向上させるとともに、リーダーシップを発揮し自らの職責を果たし、全体的な視野を持って組織目標を達成すること、また、お取引先(ご利用者)目線に立って、組織の運営に携わる者としての使命感、責任感をもって、自らの業務を遂行することが重要であることを習得できたと考えています。

次回7月19日から3日間、幹部候補者による研修を予定しています。

(ライフアートグループ管理部 研修担当)



長田理事長の挨拶



大森先生の挨拶



職員の発表場面

楽しく弁当 佐保の里店 オープン

「配食のふれ愛佐保の里店」で、高齢者向けお弁当の配食サービスとして、栄養バランスを考えたお弁当で、ご利用者様に健康と安心をお届けしてまいりました。

この度、一般向けにランチ弁当の宅配サービス「楽しく弁当佐保の里店」を7月4日よりオープンいたしました。ヘルシーで安全・安心な宅配弁当サービス「楽しく弁当」毎日、日替わりで飽きないお弁当です。1食から配達いたしますので、ご連絡をお待ちしています。ご注文のご連絡は ☎ 0742-46-7705 まで

楽しく弁当



第14回 佐保の里「納涼祭」のご案内

夏本番、佐保の里「納涼祭」の季節がやってまいりました。

今年で14回目を迎えます。毎年、ご利用者様・ご家族の皆様、地域の皆様方に多数ご来場頂き、また、たくさんのご支援やご協力を賜り深く御礼申し上げます。

夏の暑さにも負けずに、今年もご来場の皆様楽しんでいただけるように新たな催しを取り入れて、職員一同、心よりお待ちしております。皆様お誘い合わせの上お気軽にご来場ください。

【日 時】 平成30年8月5日(日) 午後4時45分から8時頃まで

【場 所】 ライフアートコミュニティ佐保の里 駐車場・施設内

【催し物】 ものまね・カラオケ大会・盆踊り等イベント、お神輿・子供向けゲームコーナー
ミニバザー、模擬店 他 (一部内容を変更することもございます)

★先着200名の子どもさんに、**レインボーラムネ**をご用意しています。

☆当日お手伝いしていただける**ボランティア**さんも募集しています。**下記実行委員までご連絡ください。**

★お問い合わせ 0742-70-5020 実行委員 : 藤永・尾崎・上東

